

評価項目及び評価基準表

業務名：全国高校総体札幌市実行委員会事務局従事者派遣業務

実施委員審査項目（各委員が採点）

審査項目	評価項目	評価の視点	配点	特に優れている	優れている	普通	やや不十分	不十分
1 類似業務の受託実績	① 類似のスポーツイベント等の受託実績	・業務全体を円滑に進められると判断できる程度の大規模スポーツ大会、その他誘客イベントなど類似業務への派遣実績があるか（イベントの規模・ジャンル、業務内容等）。	20	10	8	6	4	2
	② 非定型業務の労働者派遣業務の受託実績	・本業務に適用する派遣労働者の確保が十分に見込まれると判断できる程度の実績があるか（派遣人数の実績、登録者数、企画運営業務の実績等）。						
2 業務の執行体制	③ 責任者等の経験値や組織体制の妥当性	・派遣元責任者等は、本業務を円滑に管理・遂行するために必要な経験、実績を有しているか。 ・業務処理体制は、仕様に定められた体制となっているか。また、本業務を円滑に管理・遂行するために必要な人員数、組織編成となっているか。	5	5	4	3	2	1
3 非定型業務に適用する従事者の確保	④ 募集・採用	・本業務に適用する派遣労働者の選定ポイントを的確に把握しているか。 ・選定ポイントを踏まえ、候補者の適正・能力を把握できる採用システムとなっているか。 ・非定型業務に適用する人材を確保するための「強み」「ノウハウ」を持っているか。 ・企画提案された選定スケジュールは実現可能性の高いものとなっているか。 ・就業前の事前研修は行われているか。また、その内容は適切なものとなっているか。	35	15	12	9	6	3
	⑤ 継続就労の確保	・派遣労働者に業務内容を的確に認識させるための工夫・取組が行われているか。 ・派遣労働者の継続就労の確保、大会直前の離職を防止するため、派遣契約期間や契約更新の時期の設定など制度面の工夫や対策が講じられているか。						
	⑥ 追加調達への対応	・派遣労働者の追加調達が必要となった場合、適切かつ迅速に対応できる体制が整えられているか。 ・追加調達した派遣労働者の決定時期は適切か。						
4 派遣労働者の雇用管理及び支援内容	⑦ フォローアップ体制	・派遣労働者のモチベーションを維持・増進するため、派遣元による定期的な訪問、面談の実施など適切なフォローアップ体制が確立されているか。 ・派遣労働者が受託者の担当者（窓口）に気軽に相談できる環境が整えられているか。 ・派遣労働者が業務を遂行する上でスキル面の問題を抱えた場合など、これを改善するためのフォローアップ体制が用意されているか。	15	5	4	3	2	1
	⑧ 苦情申立	・派遣労働者から実行委に対する業務内容、就労環境等の苦情申立に適切に対応し、解決に向けて建設的な協議を行うことができる体制が確立されているか。						
	⑨ 秘密保持	・受託者は、プライバシーマーク（Pマーク）の認証取得、内部規定の整備などの個人情報保護及び機密保持の取組が行われているか。 ・派遣労働者向けに個人情報保護及び機密保持の遵守のための教育・啓発の取組が行われているか。						
5 事故・トラブル、体調不良時の対応	⑩ 事故・トラブル等の対応	・派遣労働者に事故・トラブル等があった場合の対応体制は適切か。 ・派遣労働者が第三者等に損害を及ぼした場合の対応は適切か。 ・その他リスク管理全般に対する取組	15	5	4	3	2	1
	⑪ 長期休務時の対応	・派遣労働者が事故、体調不良等により長期休務となった場合の短期的な対応策が講じられているか。 ・派遣労働者が事故、体調不良等により長期休務となった場合の代替人員の確保等の長期的な対応策が講じられているか。 ・大会期間中など繁忙期に派遣労働者が体調不良等により休務となった場合の緊急対応体制は確立されているか。						
6 実行委との連携	⑫ 意思疎通・相談体制	・実行委と受託者との間で定期的に必要十分な意思疎通を図ることができる体制が確立されているか。 ・実行委から受託者への派遣労働者の勤怠管理の報告方法は効率的なものとなっているか。 ・派遣労働者のスキル不足等に係る実行委から派遣労働者への苦情申立に適切に対応し、解決に向けて建設的な協議を行うことができる体制が確立されているか。	5	5	4	3	2	1
7 単価見積書	⑬ 派遣料金	・派遣料金は企画提案内容と見合ったものであり、これらにより実行委が求める成果達成の実現可能性を総合的に勘案し、評価すること。	5	5	4	3	2	1
合計（委員一人あたり）			100					